

豊岡市 合併前市町の歴史

旧但東町

平成17年4月1日、1市5町(豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町)が合併し、豊岡市が誕生しました。

新庁舎の完成に合わせ、合併までの各市町の歴史を振り返ります。

《問合せ》但東支所 ☎54-1000

昭和31年9月30日、当時の合橋村、高橋村および資母村が合併し、「但東町」が誕生しました。

但東町は、山林が町域面積の約9割を占め、昭和

30年代には、農林業などの第1次産業が中心でした。昭和40年代には、絹織物業を中心に第2次産業が勃興しました。今、第3次産業は、増加傾向にあります。

ふるさと再発見と都市との交流の推進

昭和58年に打ち立てた「但東シルクロード計画」を契機に、ふるさと再発見と都市との交流によるまちづくりを推進するため、交流の拠点として、「やまびこ」や「シルク温泉」、「赤花そばの郷」などを順次整備しました。



▲但東シルク温泉館


モンゴルとの交流

昭和60年、大阪外国語大学モンゴル学科などの農村調査の受入れをきっかけに、モンゴルとの国際交流が始まりました。平成5年、町長や町議会議長などが「但東町日本モンゴル友好使節団」として訪問以降、隔年で中学生を中心とした研修生らを受け入れ、使節団を派遣するなど草の根的な交流を深めました。



▲モンゴル相撲の元チャンピオンと小学生との交流

平成8年には、交流拠点「日本・モンゴル民族博物館」がオープンしました。

年月	主な出来事
昭和31年9月	合橋村、高橋村、資母村が合併して但東町が発足
昭和39年頃～	織物業が急速に増加
昭和42年4月	合橋中学校と高橋中学校が但東中学校として統合
昭和43年4月	小学校および幼稚園を3校、3園に統合
昭和52年12月	織機の共同廃棄事業始まる
昭和58年5月	但東シルクロード計画を策定
昭和60年7月	但東自然ふれあいセンター「やまびこ」オープン
平成4年4月	第1回たんとうチューリップまつりを開催 
	▲フラワーアート(第10回)
平成5年9月	第1回但東町日本モンゴル友好使節団がモンゴル国を訪問
平成6年7月	但東町庁舎・町民センター竣工 但東シルク温泉館オープン 東井義雄記念館オープン
平成6年10月	森と砂漠を結ぶ国際シンポジウム&音楽祭を開催
平成8年7月	たんたんトンネル開通
平成8年11月	日本・モンゴル民族博物館オープン
平成9年11月	いずたんトンネル開通
平成10年11月	登尾トンネル開通
平成16年4月	但東中学校、但東北中学校が統合し、新「但東中学校」開校
平成17年3月	町制施行50周年・閉町記念式典を開催(但東町閉町)

幹線道路網の整備

国道426号、482号を中心に、「たんたんトンネル」、「いずたんトンネル」および「登尾トンネル」が相次いで開通しました。京阪神や京都府北部方面への利便性が向上し、交流が活発になりました。3村合併当初はわずかだった交流人口が、平成16年には49万人を突破しました。



▲R426登尾トンネル開通

東井義雄さんの理念を新中学校に継承

3村合併以来の懸念であった中学校も統合し、平成16年4月から、新築された学舎のもとで新「但東中学校」として歩み始めました。偉大な教育者 東井義雄さんの理念を引き継ぎ、素晴らしい環境の中で「いのちの教育」が進められています。



▲東井義雄さん

未来への責任を果たすため…

平成12年に策定した第4次但東町総合計画に基づき、「自然を活かし心元気で安心のまちづくり」をテーマにした「まちづくり」に取り組んできました。しかし、3村合併時に約9,700人だった人口が、半世紀の間に過疎化・少子高齢化の進行で、約5,300人に減少する中、財政状況の急激な悪化などで抜本的な対応を迫られました。行財政基盤の強化と効果的・効率的なまちづくりを行い、未来への責任を果たすため、合併の道を選びました。

●発行／豊岡市
☎0796231111
FAX241004
●編集／政策調整部秘書広報課
FAX241004

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL http://www.city.toyooka.lg.jp

(支所)
・竹野 ☎5247-3111
・出石 ☎5247-3111
・城崎 ☎5442-1001
・日高 ☎5442-1001
・但東 ☎5442-1001